



有明山



瞬く間に2ヶ月が過ぎようとしています。令和7年度の登校も卒業式を含めてあと12日間となりました。小学校では学年ごとの参観日が行われ、それぞれの学級で工夫された発表をご覧くださいました。一年間の子どもたちの大きな成長を実感できる時間になったことと思います。

先日校長講話で佐野洋子さん作の「100万回生きたねこ」の話を題材に話をしました。残りわずかな3学期の日々を大切に過ごし、「この1年をやりきった!」と言える最終日を迎えてほしいと思います。

【校長講話より】

「100万回生きたねこ」

これはりっぱなとら模様のねこの話です。ねこは100万回もしんで、100万回も生きたのです。王様や船乗りなどいろいろな人がねこの飼い主になりました。ねこはしぬのなんか平気だったのです。いきかえれますからね。ですが、お話の最後に「もうけっしていきかえりませんでした。」とあります。ねこはどうしていきかえらなかったのでしょうか。(中略)

「どうして生き返らなかったのか」

私はこう思いました。このねこは今という時間を(100万+1回目に)初めて精一杯に生きたのです。ですからやり直す必要がなかったのだと思います。それに精一杯生きたことで大切なものも見つけることができた。みなさんはどう考えましたか?



「私たちの今」

2月も半分が過ぎ、今の学年で過ごす時間はわずかになりました。このねこが100万回の人生を繰り返したように、みなさんも1年生、2年生...と一つずつ新しい人生(学年)を経験してきましたね。ただし今の学年は1回きりです。100万回生きたねこが「もう生き返らなくていい」と思えるほど満足したように、みなさんは今のクラス、今の学年を「やりきった」と言えるでしょうか。

そしてねこが自分以上に大切な白いねこに出会えたように、みなさんは今のクラス、今の学年、この1年で「大切なもの」を見つけられたでしょうか。

「引き継ぐということ」

100万回生きたねこは最後に動かなくなりました。しかし、このねこが生きてきたことは消えません。このねこが生きてきたすがたは、白いねこやその子どものねこたちの中にずっと残っています。

みなさんが卒業したり、進級したりして教室や学校を去ってしまっても、みなさんががんばってきた足あとは消えません。「引き継ぐ」ということは、その場所や児童会の役などをただゆずることではありません。みなさんが1年間かけて取り組んできたがんばりや優しさを次の学年の人たちに手渡すことです。6年生は最高学年という重さを5年生に。5年生はリーダーとしての自覚を4年生へ。そうやって目に見えない「穂高北小の宝物」を次の人たちに託していくのです。



「終わりに」

みなさんをお願いしたいことがあります。今の学年が終わる最後の日、心の中でこう言うように過ごしてください。「この学年でやり残したことはない。楽しかった。さあ次へ行こう。」と。「100万回生きたねこ」のように、今日の前にある時間を全力で大切にしましょう。みなさんが「やりきった顔」で次の学年に進むとき、穂高北小学校はもっと素敵な学校になります。残りの時間、みなさんがやりきっていく後ろ姿を楽しみにしています。

【2月の行事から】



2年生のそり教室と4年生のスキー教室の出発の会。大変よい天候の下、からだいっぱい雪と親しんだ1日になりました。

後期児童総会。1年間の活動を振り返り、報告してくれました。リーダーとして引っ張って来てくれた6年生のみなさん、とても頼もしかったです。

豆腐マイスターのみなさんから2年生が豆腐づくりを教えてもらいました。とてもおいしいお豆腐になりました。



今年度の放課後学習室が25日で終わりました。水曜日の放課後、4年生から6年生の子どもたちが学習に真剣に向かっている姿が印象的でした。



講師の方に教えていただきながら、6年生が天蚕の繭でコサージュづくりに取り組みました。世界に1つの素敵なコサージュが完成しました。



1年生から6年生、わかくさ学級まで、それぞれの参観日が行われました。お忙しい中、お越しいただきありがとうございます。1年間の子どもの成長に感動するとともに、これまで支えてきていただいたことに感謝申し上げます。

<3月> 【行事等の予定】

- 5日(木) わかくさ6年生を送る会
- 10日(火) 6年生を送る会
- 16日(月) 3学期終業式 離任式
- 17日(火) 卒業証書授与式
- 18日(水) ~4月6日(月) 年度末休業
- 27日(金) 新6年生登校新年度準備



【令和8年度】4月7日(火) 1学期始業式 入学式